

第 21 回 神奈川県移動性（モビリティ）向上委員会 議事要旨

1. 日 時：令和 2 年 2 月 21 日（金）10：00～11：00

2. 場 所：横浜国道事務所 2 階 会議室

3. 議 事：

神奈川県移動性（モビリティ）向上委員会規約（案）

- 神奈川県移動性（モビリティ）向上委員会規約（案）は了承された。

（1）議題 1：委員会の検討経緯と論点

- 事務局より委員会の検討経緯と本日の論点について説明した。

（2）議題 2：令和元年度における主要渋滞箇所の見直し（解除）

- 事務局より令和元年度における主要渋滞箇所の見直し（解除）について報告した。

【質疑・意見】

- 南部市場交差点について、近隣の大規模なアウトレットが間もなくリニューアルオープンするため、事業者側との協議は行っているところであるが、国道 357 号の整備方針などはあるのか（神奈川県警察本部）
→今後、横浜市とあわせて周辺道路への対応を調整中である。（横浜国道事務所）
- 馬絹交差点について、横浜国道事務所が管理者となっているが、管理者は川崎市という認識である。川崎市としては道路管理者として今後何ができるのかを検討していきたいと考えている。（川崎市）
- 道路管理者を修正した上で、道路管理者として「渋滞あり」と考えるのか、持ち帰って検討してもらいたい。事務局もそういった対応でよいか。（委員長）
→承知した。（事務局）
- データ上渋滞なしとなっている箇所がヒアリング結果では経過観察となる点について、データの取り方や指標のあり方について、今後検討が必要である。（委員長）
- 今回提示した主要渋滞箇所 7 箇所を、主要渋滞箇所から解除するという点について了承でよいか。（委員長）
→全員了承。

（3）議題 3：最新の取り組み状況の紹介

- 横浜市より横浜北西線について報告した。
- 川崎国道事務所より国道 16 号保土ヶ谷バイパス（Ⅱ期）町田立体の整備効果について報告した。

【質疑・意見】

- 横浜北西線のファンランイベントは、中止となった。（横浜市）
→HP 上には、修正版を公開することとする。（事務局）
- 馬場出入口については、都市高速では初めてとなる ETC 専用の出入口である。NEXCO で設置しているスマート IC とは異なり、退出路を設けない専用レーンとなる。（首都高速道路）

- 横浜北西線の効果として示している物流効果や生活環境改善効果などは、開通後に数値化して確認するのか。細街路を含めた交通事故の削減効果も確認してほしい。(委員長)
→事業再評価の対象となっているため、その中で実施する予定である。(首都高速道路)

(4) 議題4：道路交通アセスメント制度の運用について

- 横浜国道事務所より道路交通アセスメント制度について説明した。

【質疑・意見】

- 大店立地における初期段階から協議をする点では良い仕組みと考える。運用結果をモニターして、見直すべき点に変更する等より良い仕掛けとして運用してもらいたい。施設規模の大小だけで影響の大小が決まるものではなく、バス停等道路施設や施設出入口の位置による影響もあるため、しっかりと協議してほしい。(委員長)
- 今回のガイドラインは、ある一定条件の構造要件を満たす施設について、計画段階から道路管理者に相談頂くことを主旨としたものであり、全国の直轄国道（重要物流道路）において運用されるものである。(横浜国道事務所)
- 全国で運用していくにあたって、協議の情報を共有していく仕掛けはあるのか。(委員長)
→1月より運用しており、整備局で情報収集を行っているところ。ここで集められた諸案件は、随時公表していく予定である。(関東地方整備局)

(5) その他について

- 東京オリンピック・パラリンピックの当日及び前後の交通に関して、情報があれば共有願いたい。(神奈川県商工会議所連合会)
- 神奈川県内では聖火リレーが開催される。6月29日が県西部、6月30日が県央部、7月1日が横浜・川崎である。HP等でこの期間は工事の抑制をお願いしているところである。(神奈川県警)
- オリンピック会場周辺など、対策に重みづけを付けながら対応していく予定であるが、現時点の対応方針については検討中である。(横浜国道事務所)
- 首都高では、ロードプライシングを実施する方針である。6～22時において、緑ナンバー以外の一般車両が課金対象となる予定。併せて、幾つかの料金所を閉鎖するTSM（交通システムマネージメント）を実施予定である。(首都高速道路)

以上